

*****表彰おめでとうございます*****



菊池清見さん
(青笹町、74歳)

交通栄誉章
緑十字銀章

交通事故を抑制するため自ら積極的に各種交通安全運動に参画してきたほか、事業主として交通安全事業を推進。また、県自用自動車協会副会長や県安全運転管理者部会連合会副会長などの要職を歴任し、交通事故の撲滅に尽力しました。



佐々木睦郎さん
(宮守町、78歳)

交通栄誉章
緑十字金章

自動二輪免許と普通二種免許を取得以来、安全運転を実践し、五十三年間無事故無違反という他の模範となる安全運転の功績が認められました。また、遠野地区交通安全協会副会長を務めるなど交通安全の啓発に尽力しました。



菊池国昭さん
(遠野町、64歳)

厚生労働大臣表彰

県調理師会遠野支部理事や副支部長を歴任し、平成十四年からは支部長を務めています。長年にわたり講習会などで調理技術や衛生管理の重要性を伝えたほか、調理師会の組織強化や後継者の育成指導に尽力しました。

教育 文化 スポーツ

宮田和志(遠野高3年)第24回東北高等学校弓道選抜大会で第1位など。
菊池美智代(遠野高3年)第65回全日本空手道連盟和道会東北空手道選手権大会で高校生以上女子組手個人戦で優勝。
山尾彩子(現日本工学院1年)第55回県高等学校スキー大会スラロームで優勝など。
澤村一輝(現東京農業大学1年)06全日本ジュニアスキー選手権大会兼第13回全日本選抜ジュニアスキー選手権大会スパー大回転で準優勝など。
遠野中学校女子400リレーチーム第43回市中学校陸上競技大会で新記録第1位。
遠野高校弓道部第36回県知事杯争奪県下弓道大会高校の部男子団体で優勝など。
遠野一輪車クラブさわやか2006県一輪車競技大会演技部門小学6年生以下ペアの部で優勝など、2団体が受賞。
上郷空手道スポーツ少年団第10回県スポーツ少年団空手道大会小学5・6年団体組手で優勝など、2団体が受賞。
宮守空手道スポーツ少年団第10回県スポーツ少年団空手道大会小学5・6年団体組手で優勝など、2団体が受賞。

大会小学1・2年生団体組手で優勝。
遠野市空手道連盟第27回全東北・北海道防具付空手道選手権大会中学生男子団体組手で優勝など、14団体が受賞。
市体育協会
特別功労賞
功労賞
栄光賞
時田一雄(新町・79歳)市体育指導委員協議会会長、市スポーツ振興審議会会長、市体育協会会長、市サッカー協会会長など多くの要職を努め、市の社会体育、スポーツ振興に多大な貢献をしました。
菊池永二(下郷町・61歳)昭和54年の市バレーボール協会設立以来、選手として活躍する傍ら、小学生から一般まで幅広い年齢の指導にあたり普及強化に力を注ぎました。
石橋盛雄(青笹町・84歳)昭和60年に市ゲートボール協会に加入以来、県内外の大会で活躍。また、同協会会長を努め、市民大会などを開催し、ゲートボールの普及向上に尽力しました。
テンカース(バレーボール)第18回全国家庭婦人バレーボール

ルいそじ大会県予選会で優勝。
浅沼博一(東館町・75歳)第40回東北インドアソフトテニス選手権大会65歳の部で優勝など。
小笠原仁子(遠野町・50歳)第8回県レディース夏季ソフトテニス大会40歳以上の部で優勝など。
太田恵美子(材木町・48歳)第8回県レディース夏季ソフトテニス大会40歳以上の部で優勝。
菊池幸司(宮守町・48歳)第58回県民体育大会陸上競技大会5部男子100mで優勝。
奥寺正明(上郷町・41歳)第65回全日本空手道連盟和道会東北空手道選手権大会成年男子II有段者組手で優勝など。
高室亜希子(松崎町・40歳)第8回県レディース夏季ソフトテニス大会39歳以下の部で優勝。
木次谷聡(松崎町・30歳)18年度県陸上競技選手権大会棒高跳で第1位など。
箱石公久(六日町・28歳)18年度春季陸上競技会5000m競歩で第1位。
山尾大祐(東館町・22歳)第79回全日本学生スキー選手権大会男子スパーG競技で第2位など。
櫻井奈緒子(青笹町・22歳)第27回全東北・北海道防具付空手道選手権大会高校一般女子形で優勝。

県中山間地域モデル賞
宮守町迷岡集落協定
(菊池正一郎代表)
五十一人と一組織で構成する同協定は、中山間地域等直接支払交付金を利用し、農業機械を共同購入するなどして集落営農を推進しています。集落の女性を中心となり「タラの芽」の栽培で所得拡大を試行するほか、迷岡自治振興会や子供会などと連携した地域の環境美化への取り組みなどが評価されました。
麦作共励会県知事賞
宮代地区集団転作営農組合
(阿部金田代表)
同組合は、松崎町宮代地区を中心とした二十二戸の農家で組織。十ヶ当たり収量が高く、非常に高い栽培管理技術を有しています。機械利用による省力化を進めたり、堆肥投入による地力の向上、代かきによる雑草や連作障害の防止など、高品質の小麦生産に向けた取り組みが評価されました。

**防災フォーラム in 遠野を
開催します**

宮城県沖大規模地震が今後30年以内に99%の確率で発生すると言われています。被害を最小限に抑えるためには？日ごろの備えは？市民の安全と暮らしを守るためには？—など、『防災』について考えてみませんか。

◆日時＝2月18日(日)午後1時30分
◆会場＝市民センター大ホール

講演①「遠野における地震災害について」
講師 岩手大学副学長 齋藤徳美氏
講演②「災害時における自衛隊の救援体制」
講師 陸上自衛隊岩手駐屯地司令 小林茂氏
パネルディスカッション「岩手の防災拠点づくりについて」
問い合わせ先＝遠野消防署(☎4311)



協定書に調印し、握手を交わす三浦支部長(左)と本田敏秋市長

市と県建設業協会遠野支部(三浦貞一支部長、会員三十七社)は一月十日、災害時における応急対策業務協定を締結しました。このことにより、地震や風水害などの自然現象や事故が発生した場合には、支部会員が自主的に被災情報の収集や連絡を行い、市民のライフラインを速やかに復旧する仕組みが構築されます。

災害時に協力して復旧を
市内建設業者と対策協定締結

**医師確保対策、遠野型助産院構想に向け
市民医療整備室を設置(1月10日付け人事異動)**

深刻化する医師不足の解消と安産の里を目指した遠野型助産院ネットワークの構築など、市民がいつでも安心して医療が受けられる環境を整備するため、健康福祉部内に「市民医療整備室」を設置しました。保健課長を室長とし、救急を担う消防職員も配置した5人体制(専任2人、兼務3人)に非常勤の助産師を加えました。今後、①県立遠野病院の医師確保対策②市内で開業する医師への支援制度確立③県立遠野病院との病診連携体制の構築④遠野型助産院ネットワーク計画の具現化⑤直営診療施設(中央・小友・附馬牛診療所)の今後の役割の検討—などに取り組みます。異動者は次のとおり。
◆健康福祉部市民医療整備室▽保健課長兼室長(保健課長)佐々木文友▽次長(保健課長補佐)菊池永菜▽保健課母子保健係長兼主査(保健課母子保健係長)佐々木貞子▽主査(宮守総合支所地域振興課総務広聴係長)佐々木一富▽主任(併任)＝消防本部遠野消防署消防士長＝菊池久人◆宮守総合支所地域振興課総務広聴係長(産業振興部ふるさと交流課主査)伊藤慎 ※()内は前職

優秀指導者賞
**菊池充氏が
繰り上げ当選**
市議会議員選挙
市選挙管理委員会は一月九日、市議会議員の欠員に伴う繰り上げ選挙を開き、次点の菊池充氏(56歳)を当選人に決定しました。